

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(粟井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	北条の素晴らしい自然、景観を全国発信するために、西谷から波妻まで遊歩道をつくってほしい。	<p>風早レトロタウン構想では、北条地域の持続的な発展のために、情報発信について地域の魅力を効果的かつ効率的に伝えることで、一人でも多くの人の興味・共感につなげ参加・共有へと広げていくことにしています。</p> <p>西谷や波妻など、北条の素晴らしい自然・景観についても、今後テレビ等の媒体を活用しながら情報発信に努めたいと考えています。</p> <p>北条の素晴らしい自然を体感するには、遊歩道も一つの有効な方策ですので、地域の皆さんに主体的に取り組んでいただきながら、松山市としてもできる限りお手伝いをさせていただきたいと考えています。</p>	産業経済部 総合政策部
2	北条にサイクリングロードを整備してほしい。	<p>近年、環境や健康などの観点から、自転車が注目され、サイクリングロードの整備を望む意見も寄せられています。</p> <p>現在、愛媛県が中心となって、「しまなみ海道」をはじめ愛媛全体がサイクリストの聖地となることを目指し、「愛媛マルゴト自転車道」という構想を提唱しています。</p> <p>国土交通省・愛媛県・松山市のほか各市町が連携して、サイクリストを誘導するための「ブルーライン」と呼ばれる路面標示を整備を行っています。北条地域には、昨年10月にしまなみ海道から国道196号の海岸線を通り、道後温泉までを結ぶ「松山・今治サイクリングコース」があります。</p> <p>そのほか、自転車に関するご要望がありましたら、総合交通課までご相談ください。</p>	都市整備部
3	宅並山の案内標識を設置してほしい。	<p>案内看板の設置など地域の魅力を高める取り組みについては、地域の皆さんに主体的に取り組んでいただくことを前提に、「地域の宝みがきサポート事業」等の助成制度があります。</p> <p>昨年(平成25年)12月、粟井地区でも皆さんの意見をまとめ「地域の宝みがきサポート事業」の助成制度を活用するお考えがあると伺っています。申請手続きを進める中でご不明の点などがありましたら、お気軽に坂の上の雲まちづくりチームまでご相談ください。</p>	総合政策部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(粟井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
4	歩きながらのゴミ拾いなどボランティア活動を健康のための運動と結びつけてはどうか。	<p>松山市では、地域保健推進協力会に委託し、地区ごとに趣向を凝らしたコースを設定して、安全で健康増進に効果的なウォーキングを実施しています。ウォーキングと清掃活動については、地域の皆さんの取り組みの中で結びつけていただきたいと思います。</p> <p>松山市では、市民参加によるゴミ拾いなどの美化活動を展開することを目的に、事業所や市民グループの募集を随時、行っています。現在、266の事業所と28のグループにご登録をいただいています。登録されると、火バサミや軍手などを配付させていただき、あわせて、その活動を松山市のホームページに掲載しています。申込みについては、環境事業推進課までお願いします。</p>	保健福祉部 環境部
5	住民の交流を拡大するために集会所の有効活用を図りたいが、修繕等に対する支援をお願いしたい。	<p>北条コミュニティ集会所は、昭和51年頃から地域コミュニティ活動の拠点として、旧北条市が主体となって整備しました。建設後の修繕や光熱水費等の維持管理費については、旧北条市と地区との覚書により、各地区に負担していただくこととし、合併後も同様に取り扱いをしてきました。</p> <p>しかし、近年は建物の老朽化も進み、地区が負担する維持管理費が増大していることから、平成23年度から新たに修繕の制度を創設しました。地区の要望に基づいて、松山市が一箇所20万円以上の修繕を実施し、地区に事業費の2分の1を負担していただくものです。</p> <p>昨年度(平成25年度)までに35件の修繕工事を実施しました。</p>	市民部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(栗井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
6	北条地域、栗井地区に児童館を建設してほしい。	<p>松山市では、子どもたちが遊びを通じ、心とからだを豊かにすることを目的として、中央児童センターをはじめ、市内7か所に児童センター・児童館を設置しています。</p> <p>これらの児童館は、地区ごとに設置するのではなく、各地域のバランスを考慮しながら東西南北の各方面に核となる施設を設け、近隣地域をカバーする形で整備しています。</p> <p>後期まつやま子育てゆめプランでは、さらに1箇所の整備を計画しており、今後、既存施設からの距離、子どもの数など地域のバランスを踏まえて、設置箇所を選定していきたいと考えています。</p> <p>これまでのタウンミーティングでも申し上げましたが、既存の児童館からの距離を考えると北条地域は有力な候補地の一つとして捉えています。</p> <p>北条地域の各地区からまとまった要望が寄せられていますので、北条地域の皆さんの思いと行政の考えをすり合わせる場をできるだけ早い時期に開催したいと考えており、準備を進めています。</p>	保健福祉部
7	遊びを通じて社会のルールを学ぶ子どもの遊び場を整備してほしい。	<p>公園は、市民の多様なレクリエーションの場所として、また生活に潤いを与える緑の保全の空間となるなど、豊かな市民生活を実現する上で欠かせない重要な公共施設です。また大災害が発生した場合に一時避難する場所となる等、様々な機能を有しています。</p> <p>公園には、身近に利用する小規模なものから広域的に利用する大規模なものまで、さまざまな規模や種類のものがあります。公園の設置の際には、その機能が十分に発揮されるよう、適切な規模のものを適切な位置に配置するよう努めています。</p> <p>地域の皆さんからの新たな公園整備の要望については、周辺環境や既設公園との配置等の一定の基準や、財政面・費用対効果等、総合的に判断して設置することにしていきます。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(栗井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
8	高齢化が進み孤独死が心配である。	<p>ひとり暮らしの高齢者については、安否確認として、独居高齢者みまもり員制度を設けています。民生児童委員が、概ね65歳以上で援護が必要と思われるひとり暮らしの高齢者等の実態調査を行い、希望があった方について独居高齢者みまもり員が定期的に自宅を訪問し声かけをするなどの見守り活動を行っています。また緊急通報装置の設置や配食サービス事業、乳酸菌飲料を配付する愛の一声訪問事業などを実施しています。</p> <p>ー昨年(平成24年9月)に金融機関、電気、ガスなど20事業者が、「松山市見守りネットワーク」を構築し、地域、民間、行政が一体となった見守り体制の強化に努めています。</p> <p>業務の中で気づいた異変(数日間の新聞や郵便物が溜まっているなど)の情報をもとに、松山市や社会福祉協議会の職員が、地域の民生児童委員のご協力をいただきながら現地を訪問する等、迅速かつ適切な対応をすることにしていきます。</p>	保健福祉部
9	生活保護の適正化について。	<p>生活保護制度は、生活に困窮するすべての方に対し必要な保護を行い、最低限度の生活を保障する社会保障制度であり、その保護については、国の基準に基づき適正に実施しています。生活保護法の改正により、就労や求職活動の状況、健康状態、扶養の状況等が調査可能な項目に追加されたことから、速やかに効果的な調査を進め、本当に必要な方が適切に受給できるよう、厳格に対応していきたいと考えています。</p> <p>また、松山市では昨年度(平成25年度)からジェネリック医薬品の利用促進等を指導する専門員の雇用や民間事業者を活用した就労支援の強化等、国の補助制度を積極的に活用し、更なる生活保護の適正化に取り組んでいます。</p>	保健福祉部
10	包括支援センターはなぜ、下難波にあるのか。	<p>現在、地域包括支援センターは、地区社会福祉協議会のブロックを基本に、市内10か所に設置されています。松山市が社会福祉法人に業務を委託して運営する中で、民生委員との連携の強化が図られ、信頼関係も深まっていることから、引き続きこの10か所で運営をしたいと考えています。</p> <p>なお、地域包括支援センターは、相談者が来るのを待つのではなく、直接、相談者のもとへお伺いすることを基本方針としていますので、お気軽にご相談ください。</p>	保健福祉部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(粟井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
11	高齢者へのジェネリック医薬品の使用の啓発を徹底してほしい。	愛媛県後期高齢者医療広域連合の取り組みとして、ジェネリック医薬品の希望カードの配布や、パンフレット等での普及啓発を行っています。 また一昨年(平成24年)から、病院等で処方を受ける医薬品について、後発医薬品に切り替えた場合の差額などをお知らせするジェネリック医薬品差額通知を発送するなど、さらなる普及啓発に努めています。	保健福祉部
12	フォークジャンボリーのような地域が元気になる仕組み仕掛け運用を行政と民間が一体となって継続することを検討してほしい。	昨年(平成25年)3月に北条地域の持続的な発展を目的とした、「風早レトロタウン構想」を策定しました。4月には地元の皆さんや企業・団体等が主体となって「風早活性化協議会」を立ち上げ、鹿島やJR北条駅前通りを舞台として、北条の夏を堪能していただく「ゆかたまつり」や北条の歴史や食、産業などに触れていただく「風早レトロまつり」を開催しました。そのほか、協議会と住民グループが連携して、「かざはや楽市」「鹿島写生大会」「ビーチフラッグス大会」「踏んだら走る市」などの地域資源を活かしたイベントも多数、企画運営されています。 今後も、風早活性化協議会や地元の皆さんと行政が一体となって、北条地域全体の活性化に向け、地域間のコミュニティの強化やまちづくりへの機運の醸成を図りながら、市民の皆さんが積極的に活動できるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。	総合政策部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(栗井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
13	栗井地区を松山市のベッドタウンにするため、住宅特区のようなものはできないか。	<p>高度経済成長の時代(1954年から1973年まで)に、都市部へ集中する労働人口の受け皿として郊外に開発された住宅地を「ベッドタウン」と言います。意味は「寝に帰るための町」が名前の由来です。</p> <p>この「ベッドタウン」は当時、全国各地で同時期に開発が進められ、同じような年齢構成の人を中心に街が形成したため、40年以上が経過した現在では、ベッドタウン地域全体の高齢化が全国的な問題ともなっています。</p> <p>松山市やその周辺自治体でも、過去に人口や世帯数の増加に伴い、ベッドタウン特区のような開発や市街化区域の拡大を進めてきたこともありましたが、現在では松山市においても、人口減少そして高齢化社会を迎えており、現在の51万7千人の人口が、平成42年(16年後)には47万8千人(39,000人減)、世帯数も現在の23万世帯から21万6千世帯(14,000世帯減)に大幅に減少するとの人口予測がなされています。</p> <p>このような中、新たにベッドタウンとして、都心部へ通勤する人の居住宅地を確保する必要性は低いと考えています。また、ベッドタウンを形成するために、市街化区域を拡大するとなると、現在の市街化区域内の人口や世帯数がますます減少し、市街地の賑わいを失わせることとなります。さらにその地区に道路や上下水道などの新たなインフラ整備が必要になり、そのための新たな財源確保が必要となります。また、平成18年には法律が改正され、市街化調整区域内での大規模開発ができなくなりました。</p> <p>これらのことからベッドタウン特区の設置は、難しい状況にあると考えています。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(粟井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
14	<p>防災としては、避難情報の連絡システムを考えなければならない。・災害時の全戸への情報伝達をどのように進めているか。・FM放送と連携した個別の緊急告知放送システムの導入の考えはないか</p>	<p>松山市では、緊急地震速報や津波警報などの緊急情報を住民の皆さんに迅速かつ正確にお伝えするため、市内全域にデジタル防災行政無線システムの整備を進めています。</p> <p>粟井地区については、泉団地緑地、麓集会所、長井方集会所、客集会所、小川谷集会所、本谷集会所、常竹集会所、観音寺、久保集会所、鹿峰集会所、光洋台緑地、河原集会所、小川集会所、磯河内は集会所のほかもう1箇所、和田集会所、西谷集会所、大西谷集会所、の計18箇所への屋外拡声子局の整備を終え、避難所となる粟井小学校、粟井保育園、粟井農村環境改善センターには、戸別受信機の設置を予定しています。</p> <p>しかしながら、防災行政無線のみでは、気象条件や地理的条件、建物の構造などにより情報伝達が行えないケースも考えられます。伝達手段の信頼性の確保や住民への伝達率の向上のため、モバイル松山消防、テレホンガイド、緊急速報メールのほか、避難行動要支援者等には、音声サポートシステムやインターネットを利用したFAXなどで、警報など各種情報を伝達することとしています。そのほかTVやラジオからも緊急情報が伝達されますので、それらをあわせて活用します。</p> <p>松山市では、防災行政無線を基幹の情報伝達手段とするほか、広報車両をはじめ緊急速報メールや公共放送など、複数の伝達手段を活用することとしていますので、現段階では、新たな投資を伴うFM放送と連携したシステム等の導入は考えていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> * モバイル松山消防(前もって登録した携帯電話に緊急のお知らせをする) * テレホンガイド(録音した緊急情報を電話で聞くことができる) * 緊急速報メール(携帯電話に文字で緊急情報を送る) * 音声サポートシステムやインターネットを利用したFAX(目や耳の不自由な方に、音声や文字などで緊急情報をお知らせする) 	<p>危機管理担当部長付</p>

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(栗井地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
15	<p>自主防災連合会の活動体制の強化を図ってほしい。・地元負担なしの助成制度にしてほしい。・自主防災会の中核となる人に消防団に準じた教育と待遇を考えてもらいたい。</p>	<p>今年度も引き続いて、栗井地区自主防災連合会から自主防災組織充実・活性化事業(活性化モデル事業)のご提案をいただいています。ご提案の地域の災害特性に応じた資機材の整備は、栗井地区の防災訓練の活性化や自主防災活動の体制強化につながるものと考えています。</p> <p>なお、現行の活性化モデル事業については、地元負担金の捻出が今後、難しくなる地区が増加することも想定し、来年度以降、補助率を含め総合的に事業内容を見直したいと考えています。あわせて自主防災レベルアップ研修会や防災講演会などを通じて、防災士の資質向上を図り、地域の防災力の向上につながるよう取り組みます。</p> <p>自主防災組織の処遇については、非常勤の消防団員は地方公務員法により特別職の公務員とされていることから、自主防災組織と消防団を同様の取り扱いにすることはできません。</p>	消防局
16	<p>医療費の適正化を図るため、健康都市宣言をしてほしい。</p>	<p>松山市では、「誇れる福祉・医療で笑顔に」を基本政策の一つとしています。昨年(平成25年)3月には、第6次松山市総合計画を策定し、将来都市像を「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」とし、まちづくりの基本目標(健康・福祉)を「健やかで優しさのあるまち」と掲げていますので、現時点では健康都市宣言をする予定はありません。</p> <p>また昨年(平成25年)3月に、生活習慣病等の予防に重点を置いた第2期健康増進計画として「健康ぞなもし松山」を策定し、健康づくりのための社会整備等、市民・地域・行政が一体となって健康づくりの推進に取り組んでいます。</p>	保健福祉部